

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

10

Oct 2020
No.307



真心を込めて育てるアヤメ園

梯引支所管内 大川 重芳さん(73)



昔から花が好きで15年前からアヤメを育てています。当初は転作田に3種類ほどのアヤメを植えていましたが、咲き誇った花姿に喜びを感じ、年々種類を増やしながら、現在は50種類以上の花々が乱れ咲く「大川アヤメ園」として無料開園しています。開園する6月中旬から7月中旬までの期間、県内各地から多くの人が訪れ、賑わいを見せてています。来園者の方々にお褒めの言葉を頂くこともあります、やりがいに繋がっています。

今後も新しい花柄を取り入れながら、一輪一輪、真心を込めて育て、来園者がゆったり楽しめる園地づくりに努めたいです。



素直で優しい子に育ってね！

朝日支所管内 三浦 優菜さん(8)・杏菜ちゃん(4)

学校の授業では物作りや絵を描く工芸が大好きな優菜さん。とてもフレンドリーで、困っている人には声をかける優しい女の子です。

負けず嫌いで家族の中では一番明るい性格の杏菜ちゃんは、好き嫌いせず何でも食べます！保育園では友達とおままごとやかけっこをして遊んでいます。

晴れた日は2人で自転車に乗って遊んでいるよ！

あいと
キッズ

ファミリーファーム

FAMILY FARM

自分のやりたいことをモットーに



三川支所管内
大川 和男さん(72)・和絃さん(33)

(和絃さん) 今年4月から専業農家として、父と稲作を中心に作付けしています。苗づくりから稲刈りまでの一連の作業の中で様々な失敗を経験し、農業の難しさを改めて実感しました。今後は父から稲作を受け継ぐことを視野に入れ、ローコスト化で収量を増やす農業経営に努めたいと考えています。

農業に従事する上で目新しいことに挑戦したいという想いがあります。現在、ブロックリーナーの株間を狭めてより多くの株を定植し収量増加を目指している他、地元では珍しい皮が紫色のじゃがいも「タワラムラサキ」などを栽培しています。今後も様々な園芸品目や栽培方法を研究し、諒せず取り組んでいきたいです。

庄農生トライ

SHONOSETRY

野菜栽培で実感できた私の喜び

食品科学科3年 小林 夕夏さん 鶴岡市



私は実習などの管理作業を通して、様々な野菜の栽培について学びました。播種や水やりといった苗管理、畑の苦土石灰・元肥散布、耕起、定植など一つ一つが地道な作業でしたが、丁寧かつ確実に行うことで美味しい野菜を収穫することができました。その収穫した野菜を地域住民に販売し、心を込めて作った野菜を喜んでいただることは自分にとっても喜びであることを実感しました。この体験を通して卒業後は、物づくりである製造業に進みたいと考えています。できることをコツコツと積み重ね、進路の実現に向けて頑張っていきたいと思います！

秋は「庄内柿」を

食べなきや始まらない！

知ってる？ 庄内柿のあれこれ

Kaki 01



①収穫期を迎えた園地では、出荷に向かいつつ丁寧に収穫していく。
②北海道市場の担当者らが来出し、生育状況などを確認。

庄内を代表する秋の味覚「庄内柿」は、JA庄内たがわの重点10品目の一つであり、種無し柿として有名です。JA全農山形・庄内柿振興協議会・JA庄内たがわ庄内柿生産組織連絡協議会と連携しながら生産振興を進めています。

庄内柿は栄養価が高く、ビタミンC、カロチン、ミネラルなど多くの成分を含み、「柿が赤くなる」といふ格言があるほどです。

爽やかな甘さが引き立つ大きな柿に仕上げていきます。

庄内柿は、もともと食べやすい上品な甘さが特徴の庄内柿は、もともと渋柿であり、生育期の摘蕾や収穫後の脱渋処理によって

あくまでも消費者志向 品質追究がモットー

Kaki 03

目指すはし玉比率65%以上！

産地の顔が見える販売を

管内の作況調査を行った9月25日時点では、Aでは、出荷量2400t、販売高6億円を目指し、10月中旬から11月下旬頃まで出荷の予定です。

2020年産の庄内柿は天候不順により果実の大きさが平年並みからや小さめで、全国的にも小玉傾向となっています。現在は病虫害防除を徹底しており、収穫期における果実肥大へ期待が高まり、受け入れが始まり、炭酸ガスでの脱渋処理や選果作業を行い、出荷しています。10月6日から選果場で集荷されています。

管内の作況調査を行った9月25日時点では、Aでは、出荷量2400t、販売高6億円を目指し、10月中旬から11月下旬頃まで出荷の予定です。

庄内柿は天候不順により果実の大きさが平年並みからや小さめで、全国的にも小玉傾向となっています。現在は病虫害防除を徹底しており、収穫期における果実肥大へ期待が高まり、受け入れが始まり、炭酸ガスでの脱渋処理や選果作業を行い、出荷しています。10月6日から選果場で集荷されています。

目拝会を開き、生産者と出荷規格を入念に確認。高品質出荷を目指し士気を高める。



③選果場で規格毎に選果され、出荷準備へ。
④例年10月上旬になると、選果場に陆续と柿が集荷され、約1週間脱渋作業が行われる。

当JA施設内で撮影された写真は2019年に撮影したもので



営農販売部
販売課 販売係長
佐藤 友紀

販売、栽培管理はお任せください！

取引先との情報交換を密にして、有利販売に努めています。そして、生産者と講習会などを通じて一丸となり、し玉比率65%以上に向けた生産を進めています。

営農販売部
園芸特産課 園芸特産係長
伊藤 剛



①干し柿 柿えくぼ 15個入り 3,700円（税込）
②庄内柿ジュース100% 130ml 220円（税込）

旨味が詰まつたおいしさがここに！

Kaki 04

ギュッ！と



酒井調良氏の銅像。

マスクで対策されているようです。

明治18年、鶴岡市に住む鈴木重光氏が、越後の行商人から購入した数本の苗木の1本が起源。偏平な形で種の無い実を見て、酒井調良氏に相談する。この種のない柿に着目した調良氏は果樹園で苗木の育成を始める。明治30年、将来性を信じていた調良氏は、この柿の木の優れているところを説いてまわる。庄内各地に広がり「調良柿」と呼ばれる。

明治42年、東京帝国大学の原照農学博士より「アルコールによる脱渋方法」の教えを受け、この時に「平核無柿」と命名。調良氏は「焼酎」による渋抜き方法を完成させる。

大正3年、柿が育ちにくい北海道を販路の主力に考え、札幌の知人に向け試験的に柿を送る。大正14年秋には、当時の皇太子殿下へ柿2箱を献上。この時初めて「庄内柿」の名前が使われ、以後、「庄内柿」という商品名は全国的に知られるブランドとなる。

昭和40年、山形県の柿の収穫量が全国第1位となる。その後、50年代後半にかけて結果樹面積が最大となり、米どころ庄内において、全国に渡り合える唯一の果樹ブランドとして全盛期を迎える。

そして現在も100年以上前に開発された脱渋方法を受け継がれている。鈴木重光氏が購入した庄内柿の原木は鶴岡市に現存。

月山ワイン／2020年産仕込みスタート

朝日地域にあるJA月山ワイン山ぶどう研究所で、月山ワインの原料となるブドウの仕込み作業が9月10日にスタートした。この日は、品種「セイベル」約8tを処理。職員がコンテナに入ったブドウを破碎機のベルトコンベアに乗せ、茎を取り除き、果実の搾汁作業を行った。同地域で収穫されるブドウ品種「山ブドウ」を中心に「ヤマ・ソービニオン」「甲州」などが原料。同研究所には最新鋭のタンクと冷却機を備え、温度管理をきめ細やかに行ながるワイン造りに努めている。年間で170tのブドウを仕込み、720t/10Lボトルで12万本の醸造を見込んでいる。仕込み作業は11月上旬頃まで続く。



ブドウ／品評会最優秀賞に斎藤ゆう子さん

ぶどう部会は9月18日、鶴岡市の産直んめ農マルシェでブドウ「シャインマスカット」の品評会を開き、部会員が出品した10点から斎藤ゆう子さん（柳引）のブドウが最優秀賞に輝いた。県青果物等標準出荷規格をはじめ、糖度17度以上の基準を満たしたブドウが出品され、県庄内総合支庁農業技術普及課やJA全農山形、当JAの関係者らが粒揃いや粒肥大、房形状などの8項目を審査し、最優秀賞1点、優秀賞1点、優良賞1点を選出した。受賞したブドウは、産直で特別価格にて販売され、利用者からも好評を博した。受賞者は以下の通り。優秀賞＝澤川隆（柳引） 優良賞＝稻泉秀規（柳引）



月山ワイン／シルク染めを市ふるさと納税返礼品へ

鶴岡市とJAは9月25日、7月の大雪で浸水被害を受けたJA月山ワイン山ぶどう研究所の月山ワインを使った「ワイン染めシルク」を同市ふるさと納税の返礼品に活用すると発表した。月山ワイン復興プロジェクトの一環で、ワイン染めした「スカーフ」か「マスク」を選ぶことができ、月山ワイン「ソレイユ・ルバン ヤマソービニオン (750ml)」1本とセットにして提供する。

被災ワインをJAが無償で提供し、鶴岡シルク(株)が商品開発を進めてきた商品で、同日以降の寄付額1万5千円に対し、10月上旬から順次発送となる。応援セールとして県職員と鶴岡市職員に同セットの予約販売も行う。



ブドウ／育苗ハウス活用しワイン原料を栽培

9月中旬から水稻育苗ハウスを活用したワイン用ブドウの集荷作業が始まり、藤島地域のJA集出荷施設には高糖度に仕上がったブドウ品種「シャルドネ」「メルロー」が続々と集荷された。管内生産者8人が約33tで作付けし、出荷量4tを目指す目標に月山ワイン山ぶどう研究所に出荷。7月の高温多湿で一部ハウスに防除対応が必要となつたが、全体的に20℃以上の糖度を確保した。JAでは2015年度より原料増産や生産者拡大に向けハウス栽培を推進しており、露地に比べ、防除回数削減と雨除けによる高品質な仕上がりが期待できる他、省労力・低コスト化が見込めるため農家の注目を集めている。



地域とJAを結ぶネットワーク 各地の話題を追って

JA NEWS

掲載記事の詳細はホームページに掲載しております



2020年産米、高い一等米比率を確保



9月30日、農林水産省より今年産米の作柄概況（9月15日現在）が発表され、山形県の作況指数は「104」、庄内の作況指数は「105」となっています。また、山形県全体の予想収量は621t/10ha、庄内地方の予想収量は623t/10haとなっています。

水稻作付面積（青刈含む）は、6万8900ha（前年より100ha減少）、主食用作付見込面積は5万6500ha（前年より400ha減少）と見込まれます。水稻の作柄は、全モミ数が平年を上回って確保され、登熟もおおむね順調に推移していることから、10月当たりの予想収量は621t（前年産より6t減少）が見込まれます。

これまでの生育状況については、育苗期間は低温傾向でしたが、移植時期からは高温多照で経過したことにより初期生育の確保は順調で、生育もほぼ平年並みに推移しました。また、登熟期は好天に恵まれたことで、例年よりもやや早い刈り取りとなりました。

品質については、高温の影響による「白粒・胴割れ」、倒伏による「充実度不足」などが懸念されました。また、JAの今年産米の概算金（1等米60t）は、はえぬき11,700円、つや姫15,800円、雪若丸12,400円となっております。

産直／お米フェアに来店者ぞくぞく

鶴岡市の産直んめ農マルシェは9月26日と27日の両日、新米フェアを開いた。店内は、JA管内で収穫された新米を求める来店者で賑わいを見せていた。新米を表示価格より10%割引、2019年産を20%割引の特別価格で販売し、産直で購入した米の発送時の送料割引サービスなどを提供。また、両日先着100人にJAコープ東北が作った新米おにぎりをプレゼントし、人気を博した。産直では新米の他、和梨、ブドウ、リンゴなどの旬を迎えた果物も多数取り揃え、「食の秋」の雰囲気に包まれていた。10月17日・18日に庄内柿フェア、24日・25日には北海道フェアを開催する予定。



抜穂祭／五穀豊穰に感謝

自然の恵みと神の恩恵に感謝し、改めて清新な気持ちで米づくりに取り組もうとJAは9月25日、出羽三山神社で抜穂祭を行った。この日は、JAの生産組合長会長と役職員ら約10人が出席。三神合祭殿で神事を執り行った後、羽黒地域にある17.2haの献饌田で、5月の御田植祭で定植した「つや姫」の稻穂を鎌で刈り取った。JAの太田政士組合長は「今年は新型コロナウィルスの感染拡大や豪雨被害などに見舞われたが、無事に豊穣の秋を迎えたことを嬉しく思う」と語った。

この取り組みはJAが企画し、今年で14年目。収穫された米は、同神社の新嘗祭をはじめとする年間の祭典や神事へ奉納される。





ベテラン農家でも新規就農者でも、園芸TACと園芸特産指導員が全力でサポートして参ります。ご興味のある方は、営農販売部園芸特産課までご相談下さい。
TEL: 0235-64-5831
Email: entoku@ja-shonai.or.jp

新余目支所ATMの一時休止について

このたび、ATM機械更新に伴い「新余目支所ATMブース」の改修工事を実施することとなりました。

つきましては、下記の日程で新余目支所ATMを一時休止させていただきます。

ご利用のお客様には、大変ご不便をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願い致します。

新余目支所ATM一時休止期間（予定）令和2年11月6日(金)～11月17日(火)終日

【お問い合わせ】JA庄内たがわ新余目支所信用課 TEL: 0234-43-3711



園特
特集

『軟白ねぎ』冬の所得に大きな期待

甘さ、瑞々しさ、柔らかさを兼ね備えた庄内の冬の味覚「軟白ねぎ」。市場需要の高い当JA産軟白ねぎは冬の農家所得として大きな期待を持っています！

安定した高単価で冬期間の所得確保に！

幅広い補助制度と確かな技術指導で支援

J A管内では長ねぎ部会員78人が約3㌶で軟白ねぎを栽培しており、毎年60㌧以上を地元や関東圏の市場などに出荷しています。6月以降に水耕育苗ハウスを活用して定植作業を行い、12月から3月にかけて収穫するため、冬の需要期に出荷できます。JAでは安定した生産量を確保しているため、市場の信頼獲得につながっており、近年は高単価での取引が行われています。

JA管内では長ねぎ部会員78人が約3㌶で軟白ねぎを栽培しており、毎年60㌧以上を地元や関東圏の市場などに出荷しています。6月以降に水耕育苗ハウスを活用して定植作業を行い、12月から3月にかけて収穫するため、冬の需要期に出荷できます。JAでは安定した生産量を確保しているため、市場の信頼獲得につながっており、近年は高単価での取引が行われています。

JAでは園芸販売高40億円達成に向け、園芸重点10品目を核とした省力化による規模拡大や新規作付け誘導に取り組んでいます。

その中で、特に長ねぎと枝豆は「バラ集荷強化品目」に位置づけ、生産振興を進めています。JAでは種苗費、機械導入、土壤消毒資材、お助けコース（共選集荷）利用などに対して補助制度を設けており、栽培用ハウスのリース制度と併せて、生産基盤の拡充及び生産性向上を図っています。

JAでは園芸販売高40億円達成に向け、園芸重点10品目を核とした省力化による規模拡大や新規作付け誘導に取り組んでいます。

調製作業はお助けコースにお任せ！

きめ細やかな技術指導で新規作付者の確保に努めています。

長ねぎの調製作業は、一般的に労力負担が大きく作業時間がかかりますが、JAではお助けコースの実施により部会員の出荷調整労力軽減と機械導入経費削減による規模拡大を進めています。

三川町のJA農産物集出荷施設にある根葉切り皮むき機・選別機では、1日に最大150箱（1箱3.6㌧）以上を処理しており、利用者も増加しています。

所得目安 ※想定規模10a（100坪ハウス 約3棟分）

粗収入⇒3,900kg×単価400円=1,560,000円

⇒所得率45.6%（減価償却をのぞく）=所得：約710,000円

※お助けコース利用の場合はお助け利用数量に伴い、所得率が変動します。

※既存ハウスを活用した場合

人参／新品種で高品質化と収量増加を図る

人參部会では、今年産の作付けから新品種に切り替え、さらなる高品質化と収量増加を図っている。従来の主力品種「向陽2号」から、より管内の土壤条件に適した「恋むすめ」に切り替え、6月下旬より525㌧で作付けをスタート。発芽率が良く病害にも強いことから、部会員らの栽培意欲向上にも繋がっている。

現在、管内では人參の収穫作業が最盛期を迎えており、集荷先である鶴岡市羽黒町のJA松ヶ岡選果場には、鮮やかなオレンジ色をした人參が続々と集荷されている。JAでは、主な取引先である生活クラブ生協に50㌧の出荷を見込んでいる。収穫作業は11月下旬まで続く。



キュウリ／生産者らが生育状況を確認

鶴岡市櫛引地域の下山添野菜出荷組合員らが9月1日、同地域でキュウリの圃場を巡回し生育を確認した。8月の猛暑により高温障害が一部の圃場で見受けられたが、摘葉作業などの栽培管理により順調に生育していると総括した。同行した種苗メーカー地域担当者とJA園芸特産指導員は、ハウス内の温度と湿度を一定に保つため、換気やかん水の徹底を組合員らへ呼び掛けた。今後は適期防除や肥培管理などを徹底し、安定した品質と収穫量の確保へつなげていく。JAでは、夏と秋出荷を合わせた年間目標出荷数量250㌧を目指し、主な取引先である地元市場へ11月下旬頃まで出荷する予定だ。



あいとスクール／家庭菜園学び活かし、畑作に繋げて

JAは9月25日、鶴岡市で女性大学「あいとスクール」を開き、家庭菜園コースの受講生約10人が秋野菜の栽培管理や病害虫防除に伴う農薬の使い方などを学んだ。講師を務めた同JA営農販売部の園芸特産指導員は、8月～9月中旬までの高温や大雨による事後対策や排水対策などの重要性を説明した他、病害虫防除として防虫ネットの使用や環境保全型の農薬を使用することなどをアドバイスした。今回が最終講座となり、受講生らはこれまでの講座を振り返りをしながら、家庭でも実践できるよう栽培ポイントをまとめている。

11月下旬に女性大学の閉校式を開く予定で、受講生らに修了証書が手渡される。



長ネギ／生育を見極め適期管理を

JA全農山形が9月16日、三川町で庄内各JAの園芸特産指導員向けに長ネギの目ぞろえ会を開いた。各JAから担当職員約20人が参加し、出荷状況や販売情勢をはじめ、今後の栽培管理について周知・確認した。

JA全農山形の同日時点でのデータによると、8月上旬までは天候不順による生育停滞等で出荷量は減少したが、その後回復傾向となり、出荷規格の階級Lを中心とした出荷になっているという。また、栽培ポイントとして、適期の土寄せ、圃場の排水対策、病害虫防除、生育にあわせた追肥を挙げるなど、各指導員らへ高品質栽培に向けた具体的方法を示し、適期管理の励行を呼び掛けた。



~組合員の皆様へ~ 農協観光利用時の 旅行代金のお支払いについて

日頃より旅行事業にご理解とご利用を賜り厚く御礼申し上げます。このたび、国からの指導により、令和2年10月1日以降のご利用代金は、株農協観光の指定口座へ直接お振込み頂くことになります。※指定口座、振込用紙記入方法等はクーポン券お渡し時にご案内致します。

尚、JA窓口では、今後も引き続き株農協観光をご利用頂く際の取次ぎ等は継続して参りますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

《お問い合わせ》

■ JA庄内たがわ生活福祉部生活課
TEL 0235-64-5834

または各支所管理生活課へ

■ 株農協観光庄内営業支店
酒田市山居町2-3-8 庄内JAビル1階
TEL 0234-24-0484

(詳)赤茶筌などは高山等地で生れ育つ、群れをなして里におりてくる。月山の茶筌ケ原の池塘などが漁船の古里である。

特 大西日 杉が山こと 深まりゆく
特 群れなし 高き瀬越ゆ 赤蜻蛉
(詳)赤茶筌などは高山等地で生れ育つ、群れをなして里におりてくる。月山の茶筌ケ原の池塘などが漁船の古里である。

特 道糸の ちざれるほどに 鰐暴れ
(詳)茶筌などになると春には稚魚だった鮎も成魚となる。鮎は力強くなれた鮎の感触を楽しむ。

特 雨上がり たちまち崩ぶ 蠅の声
(詳)雨で泣き止んでいた蟻が雨があるとたちまち蟻時雨となる。たらまらぬのが良い。

特 本堂の 風の道あり 孟蘭盆会
(詳)がんどうと言われる本堂は樹も無く窓を開けると、クーラーが無くとも涼しい風の道が出来る。

特 鹿岡市東岩本 高橋 秀子
特 鹿岡市越中山 首原しづ子
特 裕の盆 踊り明かして 坂の町
(詳)富山県八尾町で毎年九月一日から三日間行われる盆の行事で、風害を防ぎ、収穫作業を祈願する風祭と合わせてもの植中おわら節に合わせて全町の人達が夜を徹して踊り踊る坂の町に特色が出た。

特 ゆっくりと 川霧包む 梵字川
(詳)月山・湯殿山の万年雪が解けた冷たい水と毎日三十五度近い気温差で水蒸気が霧となつて梵字川を包む。
(詳)にじえより、田舎は出羽三山信仰の聖地であり、結界地である。

特 万葉の 底が絶界 田要保
(詳)雨で泣き止んでいた蟻が雨があるとたちまち蟻時雨となる。たらまらぬのが良い。

特 鹿岡市熊出 佐藤 黒子
特 万葉の 頭が絶界 田要保
(詳)雨で泣き止んでいた蟻が雨があるとたちまち蟻時雨となる。たらまらぬのが良い。

特 鹿岡市本郷 小野寺一郎
特 鹿岡市越中山 佐藤 黒子
特 裕の盆 踊り明かして 坂の町
(詳)富山県八尾町で毎年九月一日から三日間行われる盆の行事で、風害を防ぎ、収穫作業を祈願する風祭と合わせてもの植中おわら節に合わせて全町の人達が夜を徹して踊り踊る坂の町に特色が出た。

特 ゆっくりと 川霧包む 梵字川
(詳)月山・湯殿山の万年雪が解けた冷たい水と毎日三十五度近い気温差で水蒸気が霧となつて梵字川を包む。
(詳)にじえより、田舎は出羽三山信仰の聖地であり、結界地である。

特 万葉の 底が絶界 田要保
(詳)雨で泣き止んでいた蟻が雨があるとたちまち蟻時雨となる。たらまらぬのが良い。

特 鹿岡市東岩本 高橋 秀子
特 本堂の 風の道あり 孟蘭盆会
(詳)がんどうと言われる本堂は樹も無く窓を開けると、クーラーが無くとも涼しい風の道が出来る。

特 鹿岡市越中山 首原しづ子
特 裕の盆 踊り明かして 坂の町
(詳)富山県八尾町で毎年九月一日から三日間行われる盆の行事で、風害を防ぎ、収穫作業を祈願する風祭と合わせてもの植中おわら節に合わせて全町の人達が夜を徹して踊り踊る坂の町に特色が出た。

特 ゆっくりと 川霧包む 梵字川
(詳)月山・湯殿山の万年雪が解けた冷たい水と毎日三十五度近い気温差で水蒸気が霧となつて梵字川を包む。
(詳)にじえより、田舎は出羽三山信仰の聖地であり、結界地である。

特 万葉の 底が絶界 田要保
(詳)雨で泣き止んでいた蟻が雨があるとたちまち蟻時雨となる。たらまらぬのが良い。

心の声 11月号投稿のテーマ 「あなたが秋を感じる時は?」

【応募方法】下記の(1)～(3)を郵便はがき・Eメールにご記入の上ご投稿ください。(1)テーマの答え(本紙やホームページ等で掲載致します)(2)住所・氏名・年齢・電話番号(3)広報誌の感想・JAへの意見・要望など
【あて先】JA庄内たがわ広報情報係 T999-7611
鶴岡市上藤島字倶中下3-1
E-mail kouhou@ja-shonai.or.jp
【しめさり】令和2年10月30日止
当日消印有効
※投稿頂いた方の個人情報は、目的以外には使用いたしません。
今月の
プレゼント

新米「つや姫2kg」
2名様

10月9日、数量限定販売開始!!

月山ワイン新酒2020 西荒屋デラウェア

櫛引西荒屋地区のデラウェア100%使用
爽やかな甘さを感じさせる白ワインです。
一口飲めばやさしい甘さが口いっぱいに広がります。

販売価格 1,320円(税込)
白・やや甘口 720ml

【お問い合わせ・お申込み】
●月山ワイン山ぶどう研究所
TEL 0235-53-2789
FAX 0235-53-2966
✉ wine@ja-shonai.or.jp
https://www.gassan-wine.com/
●月山ワインネットショップ
●庄内め農マルシェオンラインショップ



議案 報告
令和2年9月29日火
理事会だより

JA庄内たがわ 産直んめ農マルシェ 10月イベントのお知らせ

10/17㊱～18㊲ ポイント5倍 庄内柿フェア

JA庄内たがわ管内の庄内柿を取り揃えております。

10/24㊱～25㊲ ポイント5倍 北海道フェア

滝川卸売市場から取り寄せた海産物や北海道限定ラーメン・スイーツなどを販売予定!

J Aカードでお買い上げの方は 請求時に5%割引!

庄内め農マルシェ

農産物を出荷していただける庄内協力会員を随時募集しています!

オンラインショップ [庄内め農マルシェ](#)

検索

新規登録 シャインマスカットバフェ
そばにいたい
700円(税込)
櫛引産シャインマスカットを舞沢に使用し、2種類のゼリーと玄米ポン菓子の食感が楽しめるソフトになっています。ミルクソフトとシャインマスカットの爽やかな甘さがとてもマッチ



お写真・イラストはイメージです。イベント内容は予告なく変更になる場合がございますので、予めご了承下さい。

10月から2月までの営業時間: 9:00～17:30 ☎ 997-0824 鶴岡市日枝字小真木原88-1
TEL 0235-25-6778 FAX 0235-26-7880 E-mail sanchoku@ja-shonai.or.jp

庄内め農マルシェ オンラインショップ 今月のおすすめ商品

風味が良く甘みたっぷりの 四角い種なし柿



庄内柿

3.5kg(秀) 18玉～20玉 1,800円(税込)
7.5kg(秀) 36玉～40玉 2,700円(税込)

オンラインショップ
ごちらから

櫛引温泉ゆ～Town 「月山ワイン風呂」に賑わい

株式会社くしひきふるさと振興公社櫛引温泉ゆ～Townで、9月19日から22日の4日間、月山ワインを使用したワイン風呂が男女浴槽に開設されました。ワインによる血行促進、肌の引き締め効果などリラクゼーションの効能が期待されるとあり、ワイン風呂を楽しみに大勢の入浴者が訪れ、ほのかに甘い香りが漂う癒しの場となりました。

ワイン風呂には、7月の大暴雨で浸水を受けたJA月山ワイン山ぶどう研究所の赤ワイン18本、白ワイン272本が使用されました。ご協力ありがとうございました。



福祉介護支援センター えがお・テ・あいと

できることからやってみよう
明日は今日より多くの「笑顔」を!

9月の利用者様活動紹介

活動詳細は当JAホームページへ!



今できないことができるよう、できることが維持・向上できるように専門スタッフと一緒に挑戦してみませんか!

介護のお問い合わせ
福祉介護支援センター 通所介護<ケアマネジャー>、訪問介護<ホームヘルプ>、福祉用具レンタル・販売
T999-7621 鶴岡市長沼字宮前23-1 ☎ 0235-33-8165

「心の声」 祖父母との思い出は?

忙しく仕事している両親に代わり私達姉妹を育ててくれたのは明治生まれの祖父母でした。その祖父母にとって当時はクリスマスとは何ぞやの時代でしたが、クリスマスの翌朝には2人の枕元にいつも菓子袋が1つ置いてありました。愛情いっぱいに育ててもらったと今も感じています。

K・Iさん【温海】

明治生まれの祖父母と、小さい頃私は一緒に部屋に寝ていました。祖父は昔話が上手く、楽しみで床に就きました。中でも「猿の嫁」が面白くて毎晩毎晩聞きスラスラ語れる様になった思い出があります。遠い昭和30年代です…。

E・Hさん【新余目】

昨年に結婚式を挙げ、今年の8月上旬に出産しました。義祖母の認知症が進んでおり施設に入っていますが、私の名前や赤ちゃんの名前を一生懸命覚えてくれていることがとても嬉しいです。コロナが落ち着いたら会いに行きたいです。

R・Iさん【三川】

祖母を「パパちゃん」と呼んでいた。料理上手だった。月々の祀り事のたび牡丹餅と小豆餡をよく作っていた。秋になると「豆名月」「栗名月」そして「芋名月」と続く。納豆、栗、さつま芋を添えて黄粉や小豆餡を乗せた団子とスキ。名月に手を合わせる「パパちゃん」の姿を思い起こす。喜寿になった今でも目に浮かぶ。

K・Kさん【羽黒】

小さい頃、囲炉裏のそばで祖父のあぐらの中によくいました。座いす代わりに寄り掛かれて、暖かく、安心感があったのかも。60年以上も前の事です。

K・Sさん【羽黒】

幼い頃私は、今は亡き祖父母と一緒に布団で寝ていました。眠る前に昔話を聴いたり、足が痛くて眠れない時はさすってもらったり…弟妹がいたので、実質祖父母が育ての親です。天国のじじちゃん、ばばちゃん…私も、ばばちゃんになりましたよ！

E・Kさん【羽黒】

新潟地震のとき祖父が保育園まで迎えに来てくれました。祖父の押す自転車の荷台に乗せられて帰って来たことを覚えています。おとなしい人で、しっかり者の祖母といいコンビでした。

I・Kさん【柳引】

母方の祖父母には手放しで可愛がって頂きました。父方の祖父母は一緒に住んでいたからか、素っ気なく、怒られた記憶が。それでも一回だけ、祖父はバイクの後ろに乗せ、傘屋さんでピンクの傘を買ってくれたのが忘れられません。S・Nさん【柳引】

私が小学生の頃、夏休みの宿題の工作は祖父が作ってくれました。手先が器用だったので最初は手伝うくらいでしたが、最後には全て祖父が作った物を持って行きました。

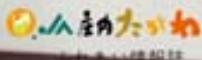
K・Yさん【朝日】

- ・その他お寄せ頂いた投稿文はホームページでもご覧頂けます。
- ・11月号のテーマや応募方法などは本紙11ページに掲載しております。

齋藤 茂さん(23)
羽黒支所管内

休日は友達とショッピングに出かけたり、小学生の頃から好きな音楽アーティストのライブ映像などを鑑賞して過ごしています。コロナ禍が治ったら実際にライブ会場へ足を運びたいです。

撮影場所 - カフェ&セレクトショップ manoma (鶴岡市)



aito
Oct 2020
No.307

発行／庄内たがわ農業協同組合 〒999-7611
山形県鶴岡市上藤島字儀中下3-1 TEL.0235-64-3000
電子メール tagawa@ja-shonai.or.jp
印刷／庄内農村工業農業協同組合連合会



ホームページ

Twitter

Instagram